

自然環境保全部活動報告書

活動日	2025/6/6	天候	晴れ	活動時間	14:00～16:30
メンバー	富田 健斗,オメラ都			報告者	富田健斗
目的	生物調査 および ビオトープ管理				
時間	場所	活動内容			
9:30～12:00	田無神社龍神池	【作業内容】 ・龍神池の写真撮影 ・生物調査 ・外来種の駆除 ・池内の枯葉の除去 ・植栽木の枯葉の除去 ・藻の除去			
		【生物調査の詳細】 ・ビオトープ創出時に導入した生物も含め、生息・生育状況の調査を実施した。 ・大小様々な大きさのモツゴが確認され、今年生まれと思われる稚魚が深場の表層を泳いでいた。 ・セキショウの上でナミテントウを確認した。 ・水面上でコセアカアメンボを確認した。 ・深場で複数のヒメタニシを確認した。 ・深場脇で吸水するミツバチ科の一種を確認した。 ・深場内でイシビル科の一種を確認した。 ・飛翔するオオシオカラトンボを確認した。 ・浅場および深場にてシオカラトンボ属のヤゴを多数確認した。 ・深場にて多数のアイノコイトモを確認した。 ・浅瀬にてシャジクモ(東京都RDB2023:絶滅危惧IB類(EN))を多数確認した。昨年冬季に実施した土の導入により発芽したと思われる。 ・過年度から継続して発芽している外来種のメリケンガヤツリを今回も確認したため、抜根を行った。			
		【ビオトープの管理作業】 ・深場では高温のためかアオミドロが多数発生していた。 ・落葉が溜まっている橋付近では池内を歩くとヘドロ臭がしており、堆積した落葉の除去を行った。 ・植栽木の剪定および繁茂したミゾソバの除草を行った。 ・メリケンガヤツリの抜根を行った。			
		【その他】 田植えに使用する苗が浅場脇に置かれていた。田植えは翌日の6/7に実施。			



No.1

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前のビオトープ全体の様子。



No.2

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前の浅場の様子。



No.3

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前の深場の様子。高温のためか藻がかなり発生した。



No.4

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

作業前の深場の様子。多数の落ち葉が堆積しており、池内を歩くとヘドロ臭が発生していた。



No.5

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

浅場脇には翌日田植え予定の苗が置いてあった。



No.6

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

深場の表層では今年生まれと思われる稚魚が多数確認された。



No.7

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

池内で確認されたモツゴ。
全長約2cm。体長5cmほどのモツゴも目視で確認されており、大小様々なサイズの個体を確認された。



No.8

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

セキショウの上で確認したナミテントウ。



No.9

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

水面上で確認したコセアカメンボ。



No.10

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

深場で複数確認したヒメタニシ。



No.11

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

深場脇で吸水していたミツバチ科の一種。体色が明るいためセイヨウミツバチと推測されるが、正確な同定は翅脈を確認しないと不明。



No.12

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

イシビル科の一種を確認した。



No.13

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

浅場および深場で多数確認されたシオカラトンボ属のヤゴ。大小様々なサイズの個体が確認された。



No.14

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

浅場で多数確認されたシャジクモ(東京都RDB2023:絶滅危惧IB類(EN))。昨年度冬に実施した土の導入により多数の株が発芽したと思われる。



No.15

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

同上。



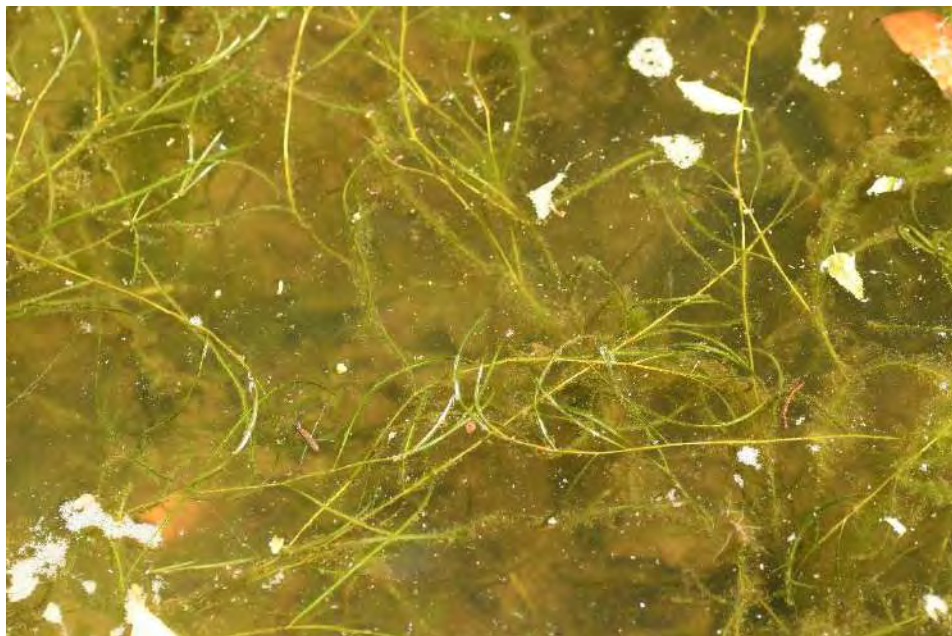
No.16

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

浅場でコナギと思われる植物の発芽が確認された。



No.17

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

深場で多数確認されたアイノコイトモ。植物体にはかなりの藻が付着していた。



No.18

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

ビオトープ脇で確認されたオオスズメノカタビラ。



No.19

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

ビオトープ脇で確認された
アオスゲ。



No.20

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

外来種メリケンガヤツリの
発芽が確認された。毎年
抜根を行っているが、継続
的に発芽している。



No.21

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

同上。



No.22

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

メリケンガヤツリの抜根作業の様子。



No.23

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

抜根後のメリケンガヤツリと池内から除去した落ち葉の様子。



No.24

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備前の石像周りの様子。ミゾソバがかなり繁茂している。



No.25

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備作業の様子。



No.26

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後の浅場の様子。



No.27

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後の深場の様子。



No.28

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後の深場の様子。



No.29

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後深場の様子。



No.30

2025年6月6日

撮影場所:田無神社龍神池

解説

整備後のビオトープの様子。

田無神社 龍神池 確認生物リスト

分類	種名	レア度 ※別表1	経緯 ※別表2	希少性 ※別表3		外来種	備考	確認記録 ※注						
				環境省	東京都 北多摩			2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年 春季
両生類	トウキョウダルマガエル	SR	導入	NT	CR			○	○		○			
	ヤマアカガエル	SR	放流		EN				○					
	アカガエル類	－	放流							○				
	ヒキガエル類の幼生	－	放流							○	○			
	ニホンアマガエル	SR	導入		VU			○						
爬虫類	ヒバカリ	SR	自然		VU					△		△		
魚類	ミナミメダカ	SR	導入	VU	CR+EN			○	○	－				
	品種メダカ	外	遺棄・放流			○				○				
	モツゴ	A	導入				深場にて大小様々な個体を確認した。表層では今年生まれの稚魚を確認。				○	○	○	○
貝類	ヒメタニシ	A	導入				深場で数個体確認した。	○	○	○	○	○	○	
	イシマキガイ	A	非意図的導入					○						
	モノアラガイ科の一種	外	非意図的導入			○	浅場、滝付近で複数個体確認し、駆除を行った。				○	○	○	○
	サカマキガイ	外	非意図的導入			○		○	○	○	○	○	○	
昆虫類	コセアカアメンボ	A	自然飛来				成虫および幼虫を確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	ヒメアメンボ	A	自然飛来						○					
	ホルバートケシカタピロアメンボ	A	自然飛来				浅場・深場で複数個体確認した。		○		○	○	○	○
	クサギカメムシ	A	自然飛来									○		
	チャバネアオカメムシ	A	自然飛来									○		
	テントウムシ科の一種	B	自然飛来										○	
	ムーアシロホシテントウ	A	自然飛来									○		
	シロジュウシホシテントウ	B	自然飛来						○			○		
	ナミテントウ	B	自然飛来				セキショウの上で確認した。		○			○		○
	マメコガネ	B	自然飛来						○					
	ニホンミツバチ	A	自然飛来					○	○		○	○		
	ミツバチ科の一種	B	自然飛来				深場脇で複数個体が吸水していた。							○
	ヒメスズメバチ	A	自然飛来							○		○		
	ハムシドロバチの一種	B	自然飛来								○			
	クロスジギンヤンマ	A	自然飛来					○	○	○	○	○	○	
	ハグロトンボ	A	非意図的導入					○						
	クロイトトンボ	A	自然飛来					○	○	○	○	○	○	
	アジアイトンボ	A	自然飛来									○		
	イトトンボ科の幼虫	A	自然飛来							○				
	オオシオカラトンボ	A	自然飛来				浅場で数個体確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	シオカラトンボ	A	自然飛来						○	○	○	○	○	
	トンボ科の幼虫	A	自然飛来				浅場および深場で多数のシオカラトンボ属の幼虫を確認した。		○	○	○	○	○	○
	イチモンジセセリ	A	自然飛来							○		○		
	ヨスジノメイガ	B	自然飛来										○	
	ミギワバエ科の1種	A	自然飛来									○		
	ホソヒラタアブ	B	自然飛来						○					
	トウキョウヒメハシミョウ	A	自然飛来								○			
	カゲロウ目の一種	A	自然飛来										○	
	コカゲロウ属の一種	B	自然飛来						○		○			
	ユスリカ科の一種	B	自然飛来						○	○	○	○		
	ヒトスジシマカ	B	自然飛来					○	○	○	○	○		
その他動物	イシビル科の一種	B	非意図的導入				深場で確認した。		○	○	○	○		○
植物	メリケンガヤツリ	外	非意図的導入			○	深場脇で複数株確認した。			○	○	○	○	○
	アオスゲ	A	土壌由来？				浅場脇で確認した。						○	○
	セキショウ	A	導入					○	○	○	○	○	○	○
	コナギ	A	導入				浅場にてコナギと思われる植物の発芽を確認した。	○		○	○	○	○	○
	アイノコイトモ	SR or R	導入				深場で多数確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	ウキヤガラ	SR or R	導入		VU			○	○					
	ミゾソバ	A	導入				ビオトープ全体で確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	アゼナ	A	土壌由来					○						
	推定ミズハコベ	SR	発芽		EN(北多摩)							○		
	ウキクサ	B	土壌由来					○	○	○	○			
	シャジクモ	SR	発芽	VU	VU(本土部)		浅瀬で多数の株を確認した。	○	○	○	○	○	○	○
	ヘビイチゴ	B	土壌由来						○	○	○	○		
	スズメノカタビラ	B	自然飛来										○	
	オオスズメノカタビラ	外	自然飛来			○	ビオトープ内で複数確認した。						○	○
	ダンドボロギク	外	自然飛来			○				○	○	○		
	アメリカタカサブロウ	外	土壌由来			○		○	○	○				
	ハハコグサ	B	自然飛来										○	
	セイヨウタンポポ	外	自然飛来			○							○	
	アイオニタビラコ（交雑種）	B	自然飛来										○	
	オオカナダモ	外	遺棄・放流			○		○						

※確認記録 ○：調査で確認、△：聞き取り等で確認

別表1 レア度について

カテゴリ	表記	基準	一例
スーパーレア	SR	環境省または東京都のレッドリストVU以上	オオタカ、フクロウ、ニホンカナヘビ、アズマヒキガエル
レア	R	環境省または東京都のレッドリストNT、DD、留意種など	ニホンアナグマ、アオダイショウ、ヤマトタムシ
良	A	武蔵野台地らしさ。雑木林や用水、田畑、湿地等に特化して生息するもの。レアではないがいてほしい生きもの。	ヒメタニシ、アオモンイトトンボ、カブトムシ
普通	B	普通種。都市や道ばたなどでも見られる生きもの。	オンブバッタ、キタキチョウ、ヒトスジシマカ、スズメ、ハクセキレイ
外来種	外	外来種	ガビチョウ、アメリカザリガニ、アカボシゴマダラ

別表2 経緯について

導入	ビオトープの質の向上等を目的に、意図的に導入した生物
非意図的導入	土や水草などの移植に伴い、意図せずに入ってきた生物
発芽	ビオトープに導入した土壌から種子が発芽したもの
自然飛来	ビオトープ創出後に周辺から自力で移動してきた生物
遺棄・放流	飼育されていたペットや園芸種などが捨てられたり、放流されたりしたもの

別表3 希少性の表記について

表記	カテゴリー名称	基本概念
EX	絶滅	当該地域において、過去に生育・生息していたことが確認されており、飼育・栽培下も含めすでに絶滅したと考えられるもの
OR	絶滅危惧IA類	ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高いもの
EN	絶滅危惧IB類	IA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの
OR+EN	絶滅危惧I類	現在の状態をもたらしした圧迫要因が引き続き作用する場合、野生での存続が困難なもの
VU	絶滅危惧II類	現在の状態をもたらしした圧迫要因が引き続き作用する場合、近い将来「絶滅危惧I類」のランクに移行することが確実と考えられるもの
NT	準絶滅危惧	現時点での絶滅危険性は小さいが、生育・生息条件の変化によっては「絶滅危惧」として上位ランクに移行する要素を有するもの
DD	情報不足	環境条件の変化によって、容易に絶滅危惧のカテゴリーに移行し得る属性を有しているが、生育・生息状況をはじめとして、ランクを判定するに足る情報が得られていないもの
・	非分布	生態的、地史的な理由から、もともと当該地域には分布しないと考えられるもの